


# 吐物処理方法の実際～施設で実践するために～

## ◇消毒液の作り方◇

	0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方	0.02%次亜塩素酸ナトリウムの作り方
原液濃度 6%の場合	 原液 50ml 水 3ℓ	 原液 10ml 水 3ℓ
用途	トイレ、汚染物が着いた場所・物・衣類など	日常的な清掃（ドアノブ・蛇口）、食器など

※目分量で作成せずに、原液・水を計量して作成してください。

## ◇吐物処理の方法◇

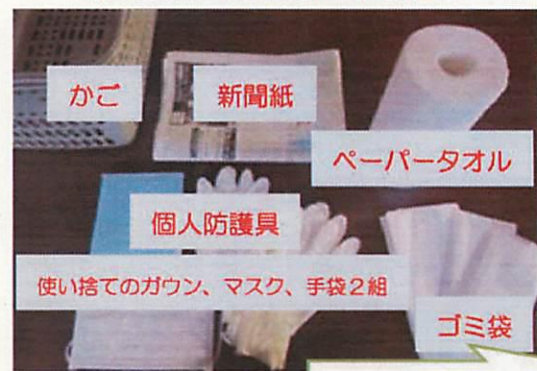
### 【必要な物品：吐物処理セット】

※吐物と記載していますが、汚物も同様に処理してください。

#### 《事務室・保健室などで管理》



#### 《保育室・教室などに設置》



※必要物品は「吐物処理セット」として平常時から準備してください。  
子ども達の誤飲を予防するため次亜塩素酸ナトリウムは事務室や保健室など子どもが触れない場所で管理してください。

一次回収袋、二次回収袋、新聞紙用ゴミ袋として使用。

### 【吐物処理の手順】

- 吐物により汚染された場所の周囲にいる人を避難させる。  
吐物で汚染された場所から半径2mの汚染区域には近寄らないよう指導する。
- 吐物の中に含まれているウイルスが室内に停滞しないように換気をする。
- 0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液、消毒液を浸したペーパータオル・雑巾を準備する。  
※消毒液は必要になった時に作成し、作り置きはしない。
- 吐物処理セットは吐物で汚染された場所から半径2m内の汚染区域の外（清潔区域）に置く。  
二次回収袋と消毒液を浸した雑巾も清潔区域にセットする。



- 処理をする人はガウン、マスク、手袋の順に個人防護具を着用する。

- マスクは隙間が出来ないようにフィットさせてブリーツを上げてつける。
- 手袋は2枚重ねて着用する。

※処理を行う人自身が感染しないよう、個人防護具を着用して二次感染予防を徹底することが重要！



⑥ 吐物で汚染された場所の近くに一次回収袋をセットする。

⑦ ペーパータオルで吐物を覆い、その上から消毒液をかける。

⑧ 吐物の周囲は消毒液を浸したペーパータオルで、外側から内側に向かって静かに拭き取る。

※同一面で複数の場所を拭き取ると汚染を拡げるので、必ず面を変えて拭き取る。



⑨ 消毒液をかけたペーパータオルも外側から内側に向かって静かに拭き取り、一次回収袋に捨てる。



⑩ 汚染された外側の手袋をはずし、一次回収袋に捨て、消毒液を染み込む程度入れて密封する。



⑪ 一次回収袋は、清潔区域に置いた二次回収袋に入れる。

※一次回収袋の外側は汚染されているので直接清潔区域には置かない。



⑫ 吐物で汚染された区域に新聞紙を敷き、その上から消毒液をかける。

- ・新聞紙は隙間無く、敷き詰める。
- ・消毒液を全体に浸し、10分間消毒する。
- ・新聞紙は水の吸収が悪いので、消毒液が染み込むまでに時間がかかる。足で消毒液をかけた箇所を静かに踏むと、新聞紙に消毒液が染みこんでいく。



⑬ 个人防护具を手袋、ガウン、マスクの順にはずし、二次回収袋に入れて密封する。

- ・手袋は、汚染された面が裏返しになるように外す。
- ・ガウンは表面が汚染されているので内側に折り込みながら外す。
- ・マスクはひもの部分を持って外す。



⑭ 汚染区域から外に出るときは、雑巾の上で靴裏を消毒する。

※靴裏が汚染されたまま移動すると、汚染を拡げるので注意する。

⑮ 吐物を処理したあとは十分に手洗いをする。

・・・・・・・・・・10分間の消毒を実施・・・・・・・・・・

⑯ 消毒が終了し、新聞紙を回収する

⑰ 新聞紙は、外側から内側に集め、ゴミ袋に入れて破棄する。

⑱ 新聞紙の処理が終了した後も、十分に手洗いをする。